2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科	科目区分	その他	授業の方法	講義
科目名	キャリアライフプランニング Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	1年生	学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎201
担当教員	川村・仲村・岩村・澤・林・河上 実務経験と その関連資格				

《授業科目における学習内容》

柔道整復師は社会で何が求められているのか、柔道整復師としてどのような準備をする必要があるのかを知識として習得する。

《成績評価の方法と基準》

- 1.レポート(70%)
- 2.出席評価(20%)
- 2.授業態度と参加度(10%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

柔道整復学·理論編 改訂第7版 (南江堂) 柔道整復学·実技編 改訂第2版 (南江堂)

《授業外における学習方法》

講義内にての配布資料の復習 グループディスカッション

《履修に当たっての留意点》

グループディスカッションを多く用いた演習形式の講義形態になりますので、積極的に参加してください。

授美	授業の 内容 使用教材 授業以外での準備学習 の見ばぬた内容					
方	法	<u></u>		使用软剂	の具体的な内容	
第 1 回	式	授業を 通じての 到達目標	柔道整復師になるために必要な知識を確認し学ぶ(1)	配布資料		
		各コマに おける 授業予定	業務範囲と保険適応について	PC、プロジェク ター		
第 2 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	柔道整復師になるために必要な知識を確認し学ぶ(2)	配布資料 PC、プロジェク ター	配布資料にて予習・復 習	
		各コマに おける 授業予定	業務範囲外疾患への対応			
第 3 回	講義形名コおり	授業を 通じての 到達目標	柔道整復師になるために必要な知識を確認し学ぶ(3)	配布資料 PC、プロジェク ター	配布資料にて予習・復 習	
		各コマに おける 授業予定	開業について			
4	接乗を通じて標準をの到達 日本のではる おける 大学・アンス おります おります おります おります おります おります おります おります	通じての	柔道整復師になるために必要な知識を確認し学ぶ(4)	配布資料	エニナング・小ファンフランケ	
		グループディスカッション①	PC、プロジェク ター	配布資料にて予習・復 習		
第 5 回	義形式	授業を 通じての 到達目標	柔道整復師になるために必要な知識を確認し学ぶ(5)	配布資料 PC、プロジェク ター	配布資料にて予習・復 習	
		各コマに おける 授業予定	グループディスカッション②			

授美方			内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	講義	授業を 通じての 到達目標	柔道整復師になるために必要な知識を確認し学ぶ(6)	配布資料	配布資料にて予習・復 習
	莪形 式	各コマに おける 授業予定	グループディスカッション③	PC、プロジェク ター	
第 7 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	柔道整復師になるために必要な知識を確認し学ぶ(7)	配布資料 PC、プロジェク ター	配布資料にて予習・復 習
		各コマに おける 授業予定	自身が目指す理想の接骨院像		
第	講美	授業を 通じての 到達目標	柔道整復師になるために必要な知識を確認し学ぶ(8)	配布資料	配布資料にて予習・復 習
8 □	式 おける	各コマに おける 授業予定	理想とする柔道整復師に必要な知識	PC、プロジェク ター	
第 9 月	講義	授業を 通じての 到達目標	集団行動について理解する(1)	配布資料	配布資料にて予習・復 習
	我形式	各コマに おける 授業予定	コミュニケーション能力について	PC、プロジェク ター	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	集団行動について理解する(2)	配布資料 PC、プロジェク ター	配布資料にて予習・復 習
10	我形式	各コマに おける 授業予定	グループディスカッション①		
第 11 回	講 通じ 到達	授業を 通じての 到達目標	集団行動について理解する(3)	配布資料 PC、プロジェク ター	配布資料にて予習・復 習
	義形式	各コマに おける 授業予定	グループディスカッション②		
弟 12 同	講義	授業を 通じての 到達目標	集団行動について理解する(4)	配布資料	配布資料にて予習・復 習
	彩形式	各コマに おける 授業予定	グループディスカッション③	PC、プロジェク ター	
第	講 到達目標	授業を 通じての 到達目標	柔道整復師の社会的意義が理解できる(1)	 配布資料	配布資料にて予習・復 習
13	義形式	形 各コマに	地域包括ケアシステムについて	PC、プロジェク ター	
第 14 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	柔道整復師の社会的意義が理解できる(2)	配布資料 PC、プロジェク ター	配布資料にて予習・復 習
		各コマに おける 授業予定	多職種連携について		
第 15 回	式	授業を 通じての 到達目標	まとめ	配布資料 PC、プロジェク ター	配布資料にて予習・復 習
		各コマに おける 授業予定	第1回〜第14回までの知識、理解度の確認を行う		